



今回の題字は AI さんの作品です！

先日、ちょっとした空き時間に、とある先生とお話をしていました。その先生は、この学年が中学生のときの学年通信の巻頭言を書いていらしたようで、「巻頭言は『予言の書』なんだ」とおっしゃっていました。何が書かれているのか気になり、さっそく読んでみたところ、今のみなさんの学びにつながる箇所を発見しました。その一節を以下に引用します。

★小論文の重要性について
大学入試のみならず、社会に出てからも、小論文が書けることは有益です。本校では（たぶん他校様も）、5教科を学んで最後に入試対策として小論文を置くカリキュラムを組んできました。（中略）5教科の関係を考えてみると、「伝える手段」が英語と国語、「（価値観が異なる人に）説得する論理」が数学で、これらはいずれも道具です。道具を使って応用する場が社会（公民分野）と理科となります。社会（公民分野）で学ぶことは、世の中がどのような仕組みになっているかや、対立する価値観をどのように調整しているかです。理科で学ぶことは、自然を観察しどのような法則があるかを検証し、それを実生活に応用することであると言えます。世の中で解決を迫られている問題は、社会科と理科の中でストレートに現れてきます。それが小論文という形で入試にも出てきているのです。

このように考えてみると、小論文の課題文をたくさん読んでいくことが他の教科を底上げしていくことに繋がっていることが分かります。逆算式の勉強、ということになります。（中略）以上のことから、中学3年から小論文をとり入れていくことにしております。（中学3年次の学年通信巻頭言より引用）

小論文テストは、高校1年次に2回実施しました。今年度も9月に実施をする予定です。今後のみなさん人生において、自らの考えを文章に書き表す機会はますます増えていくことと思います。大学入試のみならず、大学のレポート課題や卒業論文、そして社会に出てからも…

アカデミックライティングの手法を身につけるべく、5月から6月にかけて『大学1年生のための 伝わるレポートの書き方』を読み進めています。総合的な探究の時間や小論文テストが、中学3年次から取り組んでいる学びの延長線上にあることを認識し、より研ぎ澄まされた言葉を生み出していけるようにこれからも経験を積んでいってください。

橋本真人

7月		
1	火	
2	水	6限 選択科目ガイダンス
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	1 学期末考査
7	月	
8	火	
9	水	探究日（生徒登校禁止）
10	木	探究日（生徒登校禁止）
11	金	答案返却日
12	土	探究日（終日：G組登校日）
13	日	
14	月	探究日（AM：G組登校日）
15	火	探究日
16	水	探究日
17	木	探究日（A-F組登校日）
18	金	探究日（PM：G組登校日）
19	土	終業式・HR・大掃除
20	日	
21	月	海の日・夏季休業
22	火	夏期講習
23	水	第1ターム
24	木	
25	金	
26	土	夏期講習
27	日	第2ターム
28	月	
29	火	
30	水	夏期講習
31	木	第3ターム



学年通信

山脇学園 高校2年
第4号
2025年6月30日(月)発行

選択科目ガイダンス

7月2日(水)に次年度の選択科目ガイダンス【生徒対象】を行います。自分自身の今後の進路に直結する内容となります。事前に志望する系統の大学の受験科目等を確認してから、ガイダンスに臨んでください。

7月登校日について

7月11日(金) 答案返却日／山脇祭クラス企画準備日
→ 山脇祭本企画書(クラス)×切
7月17日(木) 定刻登校 (A-F) ※G組は任意
学習ガイダンスなど ※1～3限までで終了予定
7月19日(土) 終業式 (8:15 着席 8:20 出欠確認 正力パン)
高校生向け講演会

※G組追加登校日
7月12日(土)終日
7月14日(月)AM
7月18日(金)PM
詳細は別途連絡いたします

夏期課題(学年より)

①進路探究ワークシート
大学のオープンキャンパスに3～4校参加し、表1～4の空欄を埋める
②2学期総合個人探究レポートに向けた準備
宿題プリントの①「探究テーマ」～⑤「得られた情報」までを作成する
③読書
大学での学問や職業、仕事に関わる新書(専門書)を1冊読み、感想を提出する。

①②③提出方法 → 各クラスのロイロノートの提出箱に提出。(それぞれ提出箱が用意されます)
×切 → 8月31日(日)20時

8月20日(水)河合塾全統高2模試(記述)について

8月20日(水)に河合塾全統高2記述模試を行います(会場：学校)。大学受験を見据えた全国の高校2年生たちが多く受験する模試です。具体的に偏差値として自分の今の実力が見え、世の中の高2生の中で自分の位置づけが分かる重要な機会です。自分の進路に向け、高2下半期の過ごし方を考える材料としてしっかり取り組みましょう。

科目	出題範囲	試験時間・配点
英語	リスニング、中文空所補充、単語・イディオム、文法・語法、和文英訳、総合問題(2題)、英作文(整序英作文・50words程度)の自由英作文含む)	90分・200点
数学	〔受験科目：数学Ⅰ、A、Ⅱ、B範囲〕 小問集合★、三角関数、場合の数、*微分法、*数列 (*は2題から1題を選択) ★は数学A(数学と人間の活動)の範囲を除きます。	100分・200点
国語	現代文2題、古文1題、漢文1題	100分・200点

復学生徒について

6月より、高1時に1年留学に行っていた生徒が続々と復学しています。特にこの学年は留學生徒が多く、お互いに久しぶりの同級生との再会を喜ぶ場面が見られます。海外で得た経験・学びをぜひ友人に発信してもらい、より高め合っていける学年となることを期待しています。

芝高等学校との生徒会間交流

5月27日(火)でんしょばとでのお知らせの通り、港区にある創立120年を迎える伝統校である芝高等学校さんとの連携プログラムが始まりました。「芝漬ゼミ」などの学びの場だけではなく、生徒会レベルでの交流もスタートしています。

6月13日(金)には、芝高校の生徒さん3名を山脇学園に招いて、意見交換を行いました。生徒会組織の話や探究学習の話、そのほかいろいろな話で盛り上がりしました。山脇祭や今後の生徒会活動での交流などの可能性を感じる機会となりました。



留学生の帰国

高1からこの学年に留学生として来ていたカリンさん、ロッタさん、マルゴーさんが1年間の留学を終え帰国することとなりました。各留学生に最後のプレゼンテーションをやってもらいました。本プレゼンには西川校長先生をはじめ、グローバル教育部の先生方もお越しいただきました。山脇学園に来た時とは比べ物にならないほど日本語を上達させ、時おり笑いも交えつつ、最後には涙で言葉に詰まる場面も見られました。

その後は、時間の許す限り各クラスにて最後のレクリエーションを楽しみました。笑顔と笑いに満ちた時間でした。

体育祭・山脇祭・修学旅行などなど、数多くの行事をともに過ごしてきた仲間との別れはさみしいものですが、またいつかこの高校時代の時間を思い出して語り合える日を楽しみにしましょう。



学年通信題字イラスト大募集!

学年通信の題字を改めて募集します！これまで提出してくださった方も大歓迎です。皆さんの力作で、毎月の学年通信を華やかに、彩り豊かにしてくださいね。応募は全クラス共通のロイロノートから提出をしてください。